

ACTIVITIES

国際親善部より ミラロマ高校短期留学を終えて

今回の留学は、私にとっての初めての海外でした。

一番日本とは違うと感じたところは、道路の広さです。道路上でUターンをしたり、普通の道路でも時速70kmで走っていました。また、アメリカは車社会で、車がないと生きていけないとと思いました。

アメリカは自由な国とよく聞きます。行ってみて本当にそんな感じがしました。校則は緩く、服装・髪型・ピアスなどは自由、授業中に飲食しても構いませんでした。でも皆さんと授業は受けます。またスポーツが盛んで、体操やフェンシングなど色々なスポーツの教室がありました。とにかく自分のやりたい事をやって大いにそれを楽しんでいるんだなと思いました。アメリカの人はよく笑うという印象を受けました。

英語を使ってアメリカ人ともっと話せるようになりたいと思うようになりましたので、日本に戻ってきてからは、毎日欠かさず英語を勉強するようになりました。日常で、これは英語で何と言うのだろうと思うと辞書で調べるようになりました。アメリカでは発音が聞き取れず、知っている単語でも(例えば、for a walkなど)分からなかつたので、今までどんどんといつかつたりスニッキングの練習もするようになりました。ホストスターとはメールのやりとりをすることもあり、それが英作文の練習にもなっています。そのおかげで、前より英文を読むのが楽に感じられるようになりました。

この十日間は、とても貴重な体験であったし、幸せな時間を過ごすことができました。

この留学に携わって下さったすべての人に感謝します。

3H 堀 貴子

「アメリカに行きた！」私の中学二年生の時からの夢でした。

アメリカの音楽や映画に興味を持ち、そこから文化や風習を知っていくうちに、実際見てみたいと思っていました。

初めて目にうつった憧れのアメリカは、私の想像を超える素晴らしい雄大で、でも見ているとなぜか落ち着いた雰囲気を持つ景色に見えました。

今回の短期留学で一番感銘を受けたのは、ミラロマ高校です。ミラロマ高校を初めて見た時、「日本とは全然ちやうやし海外ドラマで見たみたいな風景や!」と思いました。学校の規模はとても大きいし、いろんな人種の生徒がいて「ああアメリカだな」と感激しました。

ミラロマ高校では、図書室でプレゼンテーションをしたり、英語の授業を受けたり、日本語クラスに参加したり、ホストスターと一緒に化学の授業を受けたり、音楽の授業や演劇クラスなどに参加しました。どの授業もたくさんの驚きや感動したことがありました。特に演劇クラスは日本にはない授業だったのでとても刺激的でした。そして、ミラロマ高校の生徒や先生はとても温かく、気さくに話しかけてくれたり、一緒に写真を撮ったり、「コンニチハ」とあいさつしてくれたりと、とてもアットホームな雰囲気でした。

そして、また今回のホームステイ先のホストファミリーもとても温かい人たちでした。みんなとても優しく、私に色々なことを話してくれたり、色々な場所に連れて行ってくれて、本当のシスターのようにふるまってくれました。

今回、アメリカが自分の元々住み慣れた場所のように感じたのは、ミラロマ高校の生徒やホストファミリーが、優しく温かく迎え入れてくれたからだと思います。絶対にまた戻ってきてみたいとアメリカを発つときに思いました。

今回の短期留学で一番感謝したいのは、両親です。こんなちゃんとぽんんな私をアメリカに行かせてくれたことに感謝したいです。また、今回のホームステイを企画して下さった国際親善部さんや、添乗員の峯地さん、引率の和田先生、教頭先生にも感謝したいです。そして、素晴らしい時間を共に過ごした仲間は特別な存在です。

今回、私は昔からの夢を叶えられました。そしてまた新しい夢がきました。一生忘れられない宝物になりました。

Thank you very much!

3E 山本 ひかり

近畿高P連京都大会 第39回近畿地区高等学校PTA連合会大会京都大会に参加して

6月29日に京都宝ヶ池の地に約3000人の教職員、保護者が集まり大会が開催されました。表彰、来賓の方々の挨拶、分科会等がありました。会場が一番盛り上がったのが、元プロ野球選手の「鉄人衣笠祥雄さん」の記念講演ではないでしょうか。

「夢、希望、目標」を持つ事が大切、そして「いつか必ずチャンスはくる」という言葉を何度も繰り返して話されました。物静かな方でしたが、時にはユーモアを交えて会場の雰囲気を和ませながらの講演でした。

他に講演された佛教大学の教授である原先生も、切り口は違いましたが教育の専門家として、「夢がある高校生は、その目標に向かって頑張れる」と、衣笠さんと同じように説いていらっしゃいました。「さとり世代」と呼ばれる現代の青少年への警告のようでした。

『子供達が大きな夢をもって生きていけるように後押しをしよう』と改めて決心する事が出来た大会でした。素晴らしい大会に参加出来た事に感謝致します。



井口千恵子

編集後記

今期号も無事発行する事ができました。総務部員さんをはじめ、ご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。

さて、本校体育館が10月より大規模改修工事にかかるとの事。卒業生としては少し寂しさを感じます。

OB・OGの皆様も最後の勇姿(?)を見ておいて下さい。どんな立派な姿になるか楽しみに待っています!!

総務部長 小芝鉄也



和歌山県立田辺中学校・高等学校PTA会報誌

発行:2013年7月19日 編集:田辺中学校・高等学校PTA 総務部会

The Wind from Gakuen



2013.7.19

和歌山県立田辺中学校・高等学校PTA会報誌

TOPICS

校長挨拶

各部会の報告・計画

25年度の役員が決定

新職員のご紹介

進路指導部より

REPORTS

高校総体等の結果

天神崎学習の感想

まちナビ(田辺市街地を散策)

和歌山県教育センター学びの丘へ物理地学習

ACTIVITIES

ミラロマ高校短期留学を終えて
近畿高P連京都大会



TOPICS

各部会の報告・計画

◎健全育成部 平成25年度活動計画

◎活動方針

学校との緊密な連携により、生徒の健全な育成に努める。

◎活動計画

- 部会開催
- 生徒登校観察(春、秋年2回 6月、11月)
春は、正門・裏門 秋は、街頭での観察
(通学時の服装、交通マナーの観察)
- 紀南6高校本部役員会(PTA生活指導連合会)への参加(7月、12月)
- 田辺市暴力追放パレードへの参加(10月)

◎国際親善部 平成25年度活動計画

◎活動の目的

生徒たちに国際人としての自覚、豊かな国際感覚などを身につけさせるために、アメリカ・カリフォルニア州の姉妹校ミラロマ高校短期留学や、留学生との交流事業、異文化理解事業などの企画、運営に携わる。

◎活動計画

- 部会
- 部員募集
- 田高祭参加
- 姉妹校ミラロマ高校との提携事業の推進
- 留学生受け入れ家庭募集と支援 ◦交際交流事業の拡充
- 「国際親善部だより」の発行

◎中学部

- 5月21日 授業参観・懇談会
6月28日 中学部懇談会



チーム田高

進路指導部より

今春の進路実績は「チーム田高」の力が大いに發揮された。国公立大学合格者数が史上最高であった。さらに難関国公立の合格者数、難関私立大学の合格者数も史上最高であった。また公務員試験の合格者数も近畿でトップクラスであった。

この勢いを引き継ぐべく、3年生は勝負の夏を迎えていた。自己の進路の『夢』を現実と向き合い『志』に高めようとしている。2年生も学校の中核として学習にクラブに行事に自立した活動を始め、1年生も学習とクラブの両立をめざす田高生になろうとしている。

ただ『志』を高めること、『がんばろう』という気持ちをもつことは、一人だけでは限界がある。

『志』を高めることは、高めるための『場』としてのチームが必要だ。HR対抗、田高祭、体育祭、大学見学会など多くの行事の体験を通してチームが形作られる。また、保護者や教職員が価値観を共有することで、より強固なものとなっていく。それが「チーム田高」だ。

第63回HR対抗結果報告

	男子			女子			
	サッカー	バレー	卓球	ソフトボール	バスケット	卓球	総合
優勝	2D	教員	3G	3D	1C	3F②	3F
準優勝	3H	3F	2G	2A	2E①	2B	3H,3D
3位	2C	3E	3C	3G	3ABA	1B	
3位	教員	3H	3D	3H	3ABβ	3E	

これからの進路指導部行事

- 7月21日(日)
和歌山大学見学会
8月 9日(金)
大阪大学見学会
9月26日(木)
文理選択進路講演会
10月22日(火)
ライブカレッジ



REPORTS

高校総体等の結果

全国大会出場

陸上部、ワンダーフォーゲル部、ボート部、書道部

近畿大会出場

陸上部、ワンダーフォーゲル部、ボート部、バスケット部女子、卓球部、
ソフトテニス部男子、剣道部男子、水泳部、ホッケー部、体操部、バレー部男子



インターハイに向けて

今年の県総体は、6月1日～3日に行われました。初日は田辺高校で各種の審査があり、2日目は近露から湯峰までの熊野古道を歩きました。練習で歩いた時は制限時間ぎりぎりだったのですが、本番では7時間29分と、1時間ほど早いタイムでゴールすることができました。他の審査でも、それほど大きな減点はなく、優勝できてうれしいです。

インターハイは、8月2日から6日に大分県の「くじゅう連山」で行われます。インターハイは全員が初めてなので、不安なこともあります。みんなで力を合わせて頑張りたいです。また、せっかくの機会なので、大会の雰囲気や山そのものを楽しみたいと思います。

インターハイでは、3日間も山を歩きますので、体力が大きくものを言います。毎日のトレーニングをきっちり積んで、参加したいと思っています。そして、歩き終えた後には、「出場して良かった」と一生の思い出に残る大会にしたいと思います。

ワンダーフォーゲル部 2D 井本 遥



6月中旬に近畿高校総体に出場しました。種目は800メートルと1500メートルです。陸上競技に関わっていたのは、小学校の地区対抗駅伝などで実力は小学生の時、郡で8位くらい。中学生で県で8位くらいと徐々にランクが上がってきました。記録が伸びるのが楽しくてずっと続けて練習してきました。そして高校最後の総体。近畿8位といわず全国上位を狙って、今まで積み重ねてきた練習を信じ、大会に挑みました。

この時期の奈良県は真夏並みの暑さでした。最高気温35度で、競技の前やアップ中はずっと頭に氷を乗せていました。結果は1500が7位で惜しくも近畿を逃し、800は4位で念願の全国大会に出場することができました。チームメイトがうつわで体を冷ましてくれたり、新しい氷を持ってきてくれたりと、支えられながらの結果でした。

全国では、支えてくれた人々に感謝し、良い結果で恩返しが出来るよう、全力を尽くしてきます。

陸上部 3G 中西 蓮



私は6月13日から15日まで行われた近畿高校総体に400メートルで出場しました。予選は、あまり緊張せずリラックスして走れたと思います。自己ベストを出すことができ、真ん中のレーンをとることができたので嬉しかったです。準決勝は、先輩や先生に「ここが勝負」と言われていたので、今までやってきたことを信じて、全力で走りました。そして着順で入ることができました。決勝では、予想していた通りの有名な選手ばかりでした。でも『絶対に全国に行く。』という強い気持ちを持って走りました。そして5位になりました。今まで陸上をしていた中で一番うれしかったです。ここまでくることができたのは、いつも応援してくれた先輩・後輩・友達・親のおかげだと思います。ありがとうございました。

全国インターハイの目標は、自己ベストを出して準決勝に行くことです。そのためには残りの1ヶ月怪我をしないようにと、健康管理をして、毎日の練習をがんばりたいと思います。

陸上部 2F 堅田 悠希



ごあいさつ

夢を叶えるということ

学校長 岩崎 浩久

保護者の皆様、はじめまして。

私は、今春の人事異動で和歌山市内の陵雲高等学校から転任してまいりました。今年度で校長職は3年目を迎えます。どうぞよろしくお願いいたします。

夢は“叶う”ものではなく“叶える”ものであるといわれます。ここでいう夢は目標とほぼ同じ意味を持っています。「夢」という文字の成り立ちには諸説ありますが、一説では、「昔」の「目」の部分を「夕」に置き換えてできたものとされています。「昔」「夢」はいずれも、“暗い”あるいは“はつきりと見えない”ことを表しています。「叶」は「口」偏に「十」と書きます。「十」は数が多いことの象徴です。数多くの人に対する、つまり何度も強く思うことで、夢ははつきりと見えるもの、すなわち目標へと変わります。また「叶」には、「多くの人の意見を集めること」の意味もあります。人は、多くの人によって支えられ、さまざまな意見を参考にすることで、目標の実現により近づくことができるのです。一つの学校において、一人ひとりの力をより伸ばし、それぞれの夢を叶えるためには、個々の努力とともに集団としての強みが発揮される必要があります。私たち田辺中学校・高等学校教職員一同は、保護者の皆様と互いに手を取りあって、生徒一人ひとりを大切にし、すべての生徒の成長と目標の実現を目指して支援していきたいと考えています。どうか今後とも、本校の教育活動に、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学園の風はいつも希望の未来に向かって吹いています。

新職員のご紹介

(敬称略)

【高等学校】

校長 岩崎 浩久 県内に母校はありませんので、本校を母校と思い、尽力させていただきます。

丸山 志乃(国語科) 田高に戻ってくることができ嬉しいです。よろしくお願いします。

田和 慶司(国語科) 初心を忘れず頑張ります。よろしくお願いします。

小西 里奈(国語科) 田辺高校でみなさんと一緒に楽しく過ごしたいと思います。

磯崎 紗子(数学科) 何も言わず謙虚にゼロから、の精神で努力します。

城戸 深太(理科) 今年一年、笑顔を忘れず多くの事を経験し成長していきたいです。

中嶋 佳徳(英語科) 元気いっぱいに頑張っていきます。

寺井 愛(英語科) 何事も丁寧にやっていきたいと思います。よろしくお願いします。

山本 亜弥(英語科) 持ち前の明るさで頑張ります。よろしくお願いします。

西 祥吾(英語科) 教師一年目、一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

畠 真千子(家庭科) 家庭科は「自分について考える」時間です。

田中 成佳(事務室) 日焼けで真っ黒です。よろしくお願いします!

池田 亮介(舍監) 新卒ですが頑張っていきます。よろしくお願いします。

スコット先生(FLT) I'm glad to be teaching English at Tanabe High School. よろしくお願いします!

【中学校】
松本 宏子 国語を担当しています。クラブは剣道です。

矢田 耕 中学校の理科を担当しています。田辺高校が母校です。

25年度の役員が決定しました (敬称略)

役員名	HR	役員名	役員名	HR	役員名
会長	3E	泉 孝志	1学年副委員長	1A	山本 祥子
副会長	中3-2	北 裕喜彦	1学年副委員長	1B	笠野 浩平
副会長	中2-1	曾我部 宗大	2学年委員長	2F	中山 仁視
副会長	2H	井口 千恵子	2学年副委員長	2H	西出 元
副会長(学習委員長)	中3-1	井谷 康司	2学年副委員長	2H	田上 美千代
会計	中2-2	真造 賢二	3学年委員長	3B	西中 勝義
監事	1D	原田 光雄	3学年副委員長	3C	木村 泰巳
監事	3E	光吉 直也	3学年副委員長	3E	中谷 公子
監事	3G	成瀬 麻友子	地区委員長	3G	池本 徹
総務部長	3F	小芝 銀也	地区副委員長	2H	井口 浩充
総務部副部長	3E	狼谷 優一	地区副委員長	1C	志波 英和
総務部副部長	2D	尾花 純代	岩崎 浩久		
健全育成部長	3F	廣田 剛	三角 雅彦		
健全育成部副部長	2G	榎本 博文	柏原 伸精		
健全育成部副部長	2A	笠松 浩至	事務長		
教養部長	3A	榎本 順子	総務部長		
教養部副部長	2G	秋月 宏美	教務部長		
教養部副部長	2B	榎本 凉代	進路指導部長		
国際親善部長	3H	堀 みどり	生活指導部長		
国際親善部副部長	中3-1	岡畑 幸香	生徒活動部長		
国際親善部副部長	2D	溝口 夏帆子	1学年主任		
中学校部長(委嘱員長)	中3-1	中内 元次	2学年主任		
中学校部長(委嘱員長)	中2-1	稗田 敦	3学年主任		
中学校部長(委嘱員長)	中1-1	中山 尚	PTA職員		
1学年委員長	1E	尾崎 弘和	木村 祥子		

REPORTS

田辺中学校クラブ活動の成績

。和歌山県ジュニア新体操選手権大会

団体競技の部 優勝 田辺中A
準優勝 田辺中B

私たち田辺中学校新体操部は、6月2日に行われた和歌山県ジュニア新体操選手権大会団体の部においてAチーム優勝、Bチーム準優勝という成績を収め、9月1日に和歌山市のビッグウェーブで行われる近畿ジュニア新体操選手権大会に出場します。

私たちが中学2年生の時にフープの団体Aチーム、Bチームが組されました。初めの頃はフープを上手く使いこなせなかったり、自分が思い描いているような演技が出来なかつたりして悔しい思いをしましたが、チームのメンバーで支え合い、励まし合いながら皆で頑張ってきました。恵まれた環境で練習が出来るのは顧問の先生や高校生の先輩方、保護者の方々のおかげだということをしっかりと頭に入れ、近畿大会では一番良い演技が出来るよう、メンバーの皆さんで支え合い、高め合いながら、より一層練習に励んでいきたいと思います。

新体操部 中3-2 佐々木 美紅

。田辺・西牟婁中学校春季選手権、大会結果

サッカー 優勝
ソフトテニス 県大会出場3ペア
卓球 県大会出場 シングル1名 ダブルス2ペア

郡大会優勝の過程

こうして優勝できたのもサッカー部に関わる全ての人たちのおかげだと思う。先生や試合にてたメンバーワーだけではなく、試合に出てなかつたメンバーも全力でぼくたちをサポートしてくれた。保護者の方々も試合を見にきてくれたり、水分補給をしてくれたりと本当に感謝している。

ぼくたちは、他校が広いコードでサッカーをしてるなか、狭い場所でずっと続けてきた。高校生も利用するので場所が少ないのだ。でも、この狭いスペースでやれることは全てやろうとがんばってきた。その結果優勝することができたのだ。努力すれば結果はついてくると改めて思った。この部員はみんなサッカーが好きなので一緒にやつていて楽しいし、切磋琢磨するので上達も早い。こんな良いメンバーでサッカーをすることができて本当に良かったと思っている。サッカーはとても素晴らしい競技だ。

サッカー部 中3-2 井潤 和也

まちナビ(田辺市街地を散策)

今日の学習で、南方熊楠について今までよりも関心が深まりました。熊楠の幼い頃からの勉強方法や粘着について、よくわかりました。熊楠が昔住んでいた家を見られて楽しかったです。本当に「和」って言う言葉がぴったりで、見ていてすごく落ち着きました。

町ナビのウォーカラーは迷ったり走ったりすることがありました。時間がロスを防ぐために、最初から走って走つて走りまくりました。みんな「ゼーーー」と声をあげて楽しかったです。時間のロスを防ぐために、最初から走つて走りまくりました。今回の町ナビで班の絆が深まった気がします。

中2-1 大江 夏希



和歌山県教育センター学びの丘へ物理地学学習

毎年、自然科学への興味・関心を高めるために行っている校外学習がある。今回、私たちは和歌山県教育センター学びの丘で勉強した。各グループごとに分かれて、天文の学習・地層の学習・顕微鏡による観察をした。

どの学習も、はじめて知ることが多くて、とても興味深いものだった。その中でも、一番印象に残っているのは、電子顕微鏡を使った観察だ。電子顕微鏡は、電子線を用い、電子レンズによって調べたい物質を拡大してパソコンの画像で見る装置だ。顕微鏡の中を真空状態にしなければならないので準備は大変だが、マウス操作だけでピントを合わせられるので誰でも簡単に使うことができる。学校で使う顕微鏡より数万倍の倍率で物質を鮮明に観察ができる、新しい発見がたくさんあった。例えば、ひつき虫という草の実のトゲの先端部分にフックみたいなものが付いたのがよく分かった。これは、マジックテープに応用されたらしい。

この学習では、普段の授業では学べないことが体験できた。高度な科学技術で観察することができて星や生物を身边に感じたり、自然への関心が高まった。これから私は、身の回りにあるものに、より目を向けていきたい。

中3-2 那須 夏千

